



ピケスト協会の今期方針案

－ ヘルスケア第二段階を支えるスクリーニング技術 －

平成28年6月23日

ピケスト協会

運営委員長 後藤 清



も く じ

1. はじめに(現状と課題)
2. 今期方針(協会コンセプトとして)
3. スクリーニング調査の普及
4. おわりに



1.はじめに

現状と課題

- 「衝撃弾性波検査」の技術が、土木学会より技術開発賞を受賞し、ストックマネジメントに資する管渠の劣化診断技術として、新しい局面を迎えました
- この新しい局面では「衝撃弾性波検査」という精密検査に至る健康診断、いわゆるスクリーニング調査の普及が不可欠です
- B-DASHプロジェクトにより管口カメラや展開カメラなどが、スクリーニング調査技術として認められています





現状と課題

- しかし、それでもなお、スクリーニング本来の目的である、全体を俯瞰し、「問題の濃淡」から、ストックマネジメントの分母を把握できる規模への展開は、覚束ない現状があります
- それは劣化対策だけではなく、不明水対策や雨水管理なども同様で、有効な対策のためのスクリーニング調査が、国レベルで希求されています
- ピケスト協会は、この希求される現状に対応する、ビジネスにつなげる活動こそが協会活動に相応しいと考え、今期の運営方針と考えます



2. 今期方針

協会コンセプトとして

具体的な今期方針は次の通り。

1. スクリーニング調査としての劣化診断技術の普及
2. スクリーニング調査としての不明水等の診断技術の普及
3. 会員所有の関連技術の広報と積極的なHP展開
4. 以上の活動による、新規会員の倍増
5. 新技術、技術改良、営業促進に関わる、情報の共有



3.スクリーニング調査の普及

3-1.劣化スクリーニング調査の普及

1. 管口カメラ(B-DASHプロジェクト)
2. 展開カメラ(B-DASHプロジェクト):スクリーニング技術付加
3. 従来TVカメラ調査(スクリーニング調査レベル):原則洗浄無し、最小限度の側視、ABランクのみ、カメラ動力増強による日進量の倍増
4. 既存TVカメラ調査データの整理(スクリーニング調査レベル)
5. 衝撃弾性波検査(スクリーニング調査レベル):原則洗浄無し、1種、2種管以外の短管や陶管への対応、簡単な判定のみ。現状ロボットのオプションとして検討する
6. このほかの会員様提案の新技术





3.スクリーニング調査の普及

3-2.不明水調査等のスクリーニング調査の普及

1. 圧力チップによる水位スクリーニング: 廉価な圧力チップ(水位データロガ)を全域に撒く方式のスクリーニング技術。不明水、CSO、SSO、雨水管理全般に対応
2. EC計による不明水スクリーニング: 雨天時浸入水・常時浸入水と汚水の電気伝導差に着目して発明された、不明水スクリーニング技術
3. 温度計による不明水スクリーニング: 雨天時浸入水・常時浸入水と汚水の温度差に着目して発明された、不明水スクリーニング技術
4. エレクトロスキャン: 漏電流検知による水密性不良箇所特定調査
5. このほかの会員様提案の新技術





3.スクリーニング調査の普及

3-3ピケスト協会が推奨する調査技術

	スクリーニング	詳細調査
管路調査	管口カメラ 展開カメラ TVカメラ(簡易) 既存TVカメラデータ整理 弾性波検査(簡易) このほか会員様提案新技術	TVカメラ(従来スペック) 弾性波検査(従来スペック) 内径変形検査
不明水等	水位分布(圧力チップ) EC分布 温度分布 水密性分布 (エレクトロスキャン)	流量(同時多測点など) モデル地区調査(小ブロック) 段階補修定量 負荷量(CSO、事業排水)

展望

- 昨年掲げた「下水道のヘルスケア」が、土木学会の推奨を受けて第二段階に入ろうとしています。第二段階のヘルスケアでは、多彩なスクリーニング技術が生きてくるのが容易に想像できます
- 国の負託に応える
この活動を通じて会員のビジネスを応援します。ストックマネジメントに対応できる合理的なスクリーニング調査こそが喫緊のビジネスモデルです
- ピケスト協会は、弾性波検査をはじめとする、さまざまな調査技術、情報の共有を通じて、社会貢献できる協会でありたいと願っています



おわり

ご清聴ありがとうございました。